



改憲・戦争阻止！大行進 全国ニュース

No.2
2025/02/15

【連絡先】千葉県千葉市中央区要町2-8 勤労千葉気付／東京都台東区元浅草2-4-10 五宝堂ビル5F
TEL.080-6053-1751(本山) kaikensoshi_daikoushin@yahoo.co.jp

毎月1回 15日発行
頒価100円

青年・学生・女性を先頭に 石破打倒の反戦デモを！

洞口 朋子

(改憲・戦争阻止！
大行進呼びかけ人
杉並区議会議員)

第2次トランプ政権は、自らの世界支配を維持するために、「中国の脅威」を煽り、中国の体制を転覆する侵略戦争（＝世界戦争・核戦争）に全人類を引きずり込もうとしています。昨年7月には都内で13人の現職国会議員と自衛隊OB、米軍と台湾軍の関係者ら60人が参加した「台湾有事」の机上演習が行われました。そのシナリオは、①24年8月～26年8月を「平時～ライト・グレイゾーン」、②26年9月～27年2月を「ダーク・グレイゾーン」、③27年2月～6月を「現状変更への着手」の3つに区分し、どの段階で「武力攻撃予測事態」を認定し、「南西諸島の全島避難」を発動するかなどが検討されています。すでに、私たちは「ライト・グレイゾーン」に入っています。このままでは「2年後に開戦」です。

中国侵略戦争の急切迫

「在日米軍を置く日本は台湾防衛の要」と公言するアメリカと一体で、石破政権は8兆7005億円の25年度戦争予算を組み、今月7日の日米首脳会談を経て、トランプに年内来日を要請しました。かつて台湾を50年にわたって植民地支配し、中国大陸に百万もの侵略軍を送り込んで延々と侵略・虐殺・略奪を繰り返した日本が、再び台湾に介入し中国に



向かってのミサイル基地、出撃基地を南西諸島・日本全土につくりあげ、大軍拡をやって侵略戦争を構えることなど断じて許してはなりません。

3・8国際婦人デー闘争へ

子ども・若者に「戦争の未来」しか準備できない社会は本当に終わっています。しかし、私たちは「絶望」する必要はありません。青年・学生・女性が団結して立ち上がり、社会を根本から変える時代が来たのです！積み上がった怒りを、石破打倒の反戦デモとして爆発させよう！

第一次大戦を終わらせた1917年ロシア革命の口火を切った女性たちの闘いと精神を引き継ぎ、3・8国際婦人デー行動（3月9日、西荻地域区民センター）に集まろう！今、政府や既成野党が謳う「ジェンダー平等」は、女性やセクシャル・マイノリティを差別・抑圧から解放するものではありません。「ジェンダー平等」を掲げるSDGsの本質は

資本主義を「持続」させる成長戦略でしかありません。貧困や飢餓、原発推進、そして世界戦争の危機を引き起こして人びとの命を奪い続けている資本主義が、その危機を逆手にとって「開発目標」とすること自体が許しがたいパテンです。

私は、資本主義の「改良」や啓発運動で社会的差別がなくなるとは思っていません。歴史を見れば、議会での法整備やリーン・インによって「進歩」や「男女平等」が実現したのではなく、女性を先頭とする労働者階級の実力の闘いによって勝ちとられてきたものだからです。すべての女性とセクシャル・マイノリティの性的差別・抑圧からの解放の道は、人間が人間を搾取する階級社会の廃絶に向けて闘うことにありと確信します。最大の人権侵害である戦争に絶対反対を貫き、性差別・抑圧の根源である家父長制度とそのイデオロギー、戸籍制度、天皇制を廃止するために、ともに闘おう！

中国侵略戦争阻止！トランプ・石破倒せ！

2・23新宿を突破口に反戦大デモを切り開こう

1月20日に就任したトランプは初日から大統領令を乱発した。軍事・外交・内政の全てを「米国第一」へと転換するものだ。特に「不法移民対策」と称して南部国境に1500人の米兵を送り、連日1000人規模の拘束と「史上最大の強制送還」

を実行している。拷問施設であるグアンタナモ米軍基地への収容の方針まで検討されている。

さらにトランプは「ガザを米国が長期所有する。全住民を移住させる」と言い放ち、ガザからパレスチナ人民を追放することを宣言した。パレスチナの存在そのものを抹殺しようとしているのだ。石破もこれに呼応して国会答弁で「ガザ住民の日本への受け入れ」を表明した。断じて許すことはできない。

トランプの政策の柱は「対中国」であり、中国侵略戦争に一切を集中し突撃していく政権だ。圧倒的基軸国としての「偉大な」力の喪失、世界支配の崩壊の現実からの暴力的突破をかけて、「最強の軍隊を再び構築する」と宣言し、中国を暴力的にたたきつづ侵略戦争に突き進んでいる。資本主義・帝国主義の支配の延命のための戦争か、この体制の打倒かをかけた歴史的決戦のとこだ。

「日米の黄金時代」を確認

2月7日の日米首脳会談は、中国侵略戦争へ向けてさらに一線を越えて進んでいくことを確認する戦争会議となった。会談では「日米関係の新たな『黄金時代』」を宣言し▽自衛隊・米軍の指揮統制の連携強化▽



1/25新宿反戦デモ

拡大抑止の強化▽「尖閣諸島（釣魚台）への日米安保第5条適用▽日米防衛装備協力の推進▽「（台湾海峡問題の）一方的な現状変更の試みに反対」などが確認された。日米安保を中国侵略戦争同盟としてより一層エスカレートさせていくものだ。

トランプ＝アメリカ帝国主義による対日争闘戦の激化もはらみながら、その対立・矛盾と危機の深さゆえにこそ、帝国主義としての延命をかけて戦争国家として登場し、中国侵略戦争に率先して主体的積極的に突っ込む以外にないのが日本帝国主義であり石破政権である。

中国を射程に入れた攻撃能力＝長射程ミサイル配備を柱にした8兆7005億円の大軍拡予算案をめぐる国会攻防は、中国侵略戦争阻止をかけた決戦だ。与野党協力での「修正予算」なるもので醜悪な野合・翼賛化を深める戦争国会そのものを根本的に粉碎し、石破を打倒しよう。

何よりも沖縄こそその最前線であ

る。1月29日には辺野古大浦湾への軟弱地盤改良のための砂杭の打ち込みがついに強行された。2月19日からは陸上自衛隊（水陸機動団が中心）・米海兵隊の離島上陸作戦を柱とした共同訓練「アイアン・フィスト」が、昨年より規模を倍増して行われようとしている。

3月24日には自衛隊「統合作戦司令部」（市ヶ谷・防衛省）が発足すると報じられた。同日に三里塚耕作権裁判の判決日も指定された。農地強奪阻止をかけた決戦局面である。2～3月、侵略拠点化を阻む実力闘争で闘い抜こう。

世界戦争阻む歴史的決戦

ウクライナ戦争は、中国侵略戦争を決断した米国による「ロシアを押さえつけ、中国を打ち負かす」（米国家安全保障戦略）ための戦争であり、ウクライナ反戦闘争を米・G7・NATO－帝国主義打倒、中国侵略戦争－世界戦争阻止の反戦闘争として闘わなければならない。2・23ウクライナ戦争3年新宿反戦闘争で、「中国侵略戦争阻止、トランプ・石破打倒」を訴え、全学連と青年を先頭に1000人の戦闘的大デモを実現しよう。2・23を突破口に4・27渋谷、5月沖縄闘争、6・14全国闘争へ、25年前半決戦において昨年11月集会を上回る結集をつくり出し、歴史的な大闘争を切り開こう。

京大闘争6学生の不当逮捕弾劾！

京都府警が2月8日、京大の学生弾圧に抗議する250人の「総長室突入」闘争（2022年）への参加を理由に全学連の京大6学生を不当逮捕した。反戦闘争弾圧を絶対許せない！今すぐ取り戻そう！



新たな安保・沖縄闘争を切り開く決意で闘います

トランプ反革命の登場と、石破が総翼賛体制構築を狙う中で、中国侵略戦争・世界戦争の動きが加速しています。その中で沖縄は軍事要塞として「火の海」になることを強制されようとしています。改憲・戦争阻止！



大行進 沖縄は反戦闘争を真っ向勝負で闘うことで、新たな安保・沖縄闘争の爆発を切り開く烈々たる思いで2025年を闘っています。

2024年は、5・15闘争で全国400人の仲間と辺野古の資材搬入を止めた画期的な闘いをやり抜きました。さらに8・6広島闘争で原爆ドーム前の徹夜攻防にも青年を先頭に決起し、全国デモでの国家権力との激突と連帯しながら、沖縄闘争を根底から塗り変えるような闘いを仁王立ちになって闘ってきました。

米兵の女性暴行を許すな

年末の12・21の国際通りデモは、学生の飛び入りもあり、大高揚しました。その一方で、翌日の22日に開かれた「米兵による少女暴行事件に抗議する県民大会」は2500人の怒りの結集があったものの、主催者や登壇者の発言は怒りを体現するものでなく、むしろ怒りを矮小化する

発言もありました。「戦争と性暴力」にほとんど言及せず、「改憲」や「戦争」も語りません。石破の名前も出ません。若者代表の男子学生は「この事件は基地に賛成か反対かの枠組みで考える問題ではない」と発言したのです。会場全体がどよめきました。基地と戦争が、米兵の性暴力事件を激発させている根源であることが意図的に抹消されようとしています。大行進沖縄は、こうした体制内勢力が陥っている権力への屈服路線と徹底的に対決し、反戦・反基地の闘いをとことんやりぬく中で、米兵による女性暴行への怒りを、戦争を止め社会を変える闘いに転化して闘いぬきます。

安保粉碎・全基地撤去貫き

2025年は1.18に「米兵による少女暴行を許さない！中国侵略戦争反対！石破・トランプを打倒しよう！」を掲げた集会とデモをやりぬ

きました(写真)。この日は県外から動員された右翼が、私たちの予定会場を占拠し、大音量で無内容な演説を繰り返すという事態になりました。会場を向かいの交差点に移し、この右翼の妨害に怯むことなく、逆に沖縄に来ていながら米兵による少女暴行事件に言及もしない右翼にますます怒りを倍増させて、力強く集会を打ち抜きました。青年女性労働者の基調提起は、県庁前の多くの人の人々の怒りや反戦の思いに応えるものでした。「韓国の闘いが示しているように、民衆が歴史をつくる時代には、いつも女性が先頭に立っています。今こそ女性が反戦闘争の先頭に立ちましょう」という鮮明なアピールが発せられました。

デモは飛び入りもあり、一緒にコールしてくれる人も多数いて、SNSでも好意的なコメントが多く寄せられました。何より、米兵による新たな暴行事件が明らかになり、体制内勢力が「全基地撤去」すら言えない中で、大行進運動の飛躍・成長こそが、沖縄闘争の爆発にとって決定的存在になってきています。

「復帰」53年、戦後80年、今年の5・15闘争は、中国侵略戦争の最前線において、天皇の来沖を阻止し、沖縄戦を二度と繰り返さない最大級の決戦に押し上げられています。大行進沖縄は全国大行進の先頭で、闘いぬきます。全国の闘う仲間への沖縄への総結集を呼びかけます。

大軍拡反対の新たな署名を広げよう！

石破政権の中国侵略戦争へ向かっての



大軍拡・改憲と対決する新たな署名運動を開始します。この署名は特に、中国侵略戦争の最前線である〈沖縄の軍事要塞化〉(米軍・自衛隊の大増強、ミサイル基地化)、そして25年度に前倒しされた〈長射程ミサイル配備〉(中国本土を射程に入れた1000km超のミサイル)との対決を焦点にしたものです。全国で「米日の中国侵略戦争阻止」を訴え、署名を広げ、新たな仲間をどんどん組織しよう。



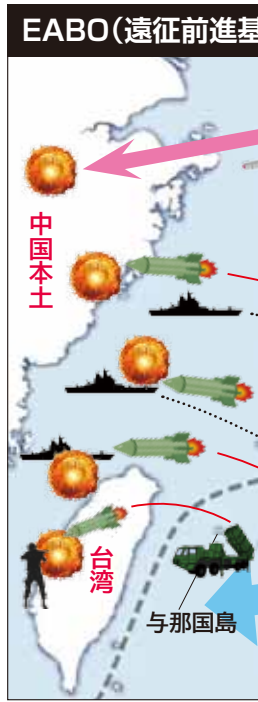
大行進東京では2〜3月、都内6カ所ですべての全学連と共に連続沖縄集会を開催します



日米共同作戦計画の概要

- (1) 台湾有事が緊迫した段階で、米海兵隊は自衛隊の支援を受けながら、鹿児島県から沖縄県の島々に臨時の攻撃拠点を置く。
- (2) 対艦攻撃のハイマース(HIMARS)を拠点に配置。自衛隊は後方支援を行い、海兵隊は空母が展開できるよう中国艦を撃沈する。
- (3) EABOに基づき、部隊の小規模・分散展開の共同作戦を展開する。

2021年12/24に共同通信が配信したスクープ記事より



琉球弧を戦場化し、中国への 軍事侵攻を狙う日米作戦計画

昨年末、「台湾有事への対応」と称する日米共同作戦計画が完成に至った。沖縄の地元紙は「日米の対中作戦計画が固まる」「南西諸島が戦域に」「攻撃で住民犠牲の恐れ」と、危機感を露わにして報道した。

日米共同作戦計画は日米間の最高機密に属し、内容は一切公開されない。だが、共同通信社によるスクープ記事(2021年12月24日)によって、作戦計画の概要が伝えられた。また、作戦計画に基づいて図上演習(キーン・エッジ)が行われ、その図上演習に基づいて実動演習(キーン・ソードやレゾリュート・ドラゴンなど)が行われるため、実際の戦争プランが概ね見えてくる。24年2月のキーン・エッジ24では初めて「中国」を敵国と名指しし、本物の地図を使って演習したと報じられた。

上記「作戦計画の概要」を読めば明らかだが、この軍事作戦のカギはEABO(エアボ。Expeditionary Advanced Based Operations)である。直訳すれば「遠征前進基地作戦」。高機動ロケット砲システム「ハ



高機動ロケット砲システム「ハイマース」

イマース」を運用する米海兵隊の海兵沿岸連隊(MLR)が、琉球弧の島々に臨時の攻撃拠点を構築し、島々を移動しながら中国軍を攻撃するという作戦である。

ネメシスを沖縄に配備

機動力の高いハイマースに加えて、新型のネメシス(NMESIS)が今年から在沖米軍基地に配備される。遠隔操作ができる無人の小型軍用車両



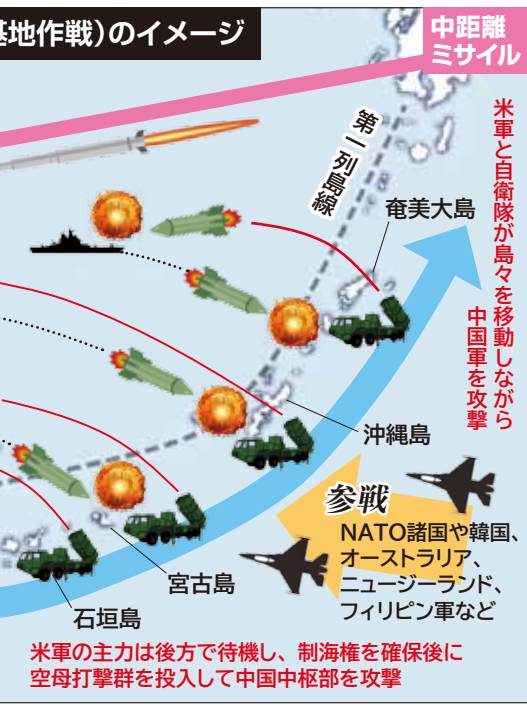
無人の小型ミサイルシステム「ネメシス」



に、射程180kmを超える対艦ミサイルを積む。6輪トラックのハイマースと比べてもさらに小さく、オスプレイにも積めるので島から島への移動が容易だ。EABO展開するMLRの主力兵器となる。

自衛隊は最前線で戦う

では、自衛隊はどう動くのか。MLRと一体で動くのが、「日本版海兵隊」と言われる陸自の水陸機動団だ



EABOの主力兵器がネメシスだと伝える USA Military Channel

ろう。米海兵隊との合同演習「アイアン・フィスト」や「レゾリュート・ドラゴン」ですでに一体化してきている。また、すでに琉球弧の島々に駐屯している陸自のミサイル部隊は、長射程ミサイル攻撃を展開するだろう。そして部隊の増援や武器弾薬の輸送など、予備自衛官も含め文字通り全部隊が戦争態勢に入る。

フィリピンに中距離ミサイル

加えて11月25日の沖縄紙は、フィリピンに米陸軍の多領域作戦部隊(マルチ・ドメイン・タスク・フォース=MDTF)のミサイル部隊を配備して「二方向からミサイル攻撃」する作戦であることを報じた。昨年4月の米比合同演習時に持ち込んだ地上発射型の中距離ミサイルシステム「タイフーン」(巡航ミサイル・トマホーク



クやSM-6改良型を搭載)をルソン島の空港にそのままにし、1月に島内の別の場所に移動させたという。

中国との長期戦を想定

2022年12月に行われた安保3文書(「国家安全保障戦略」「国家防衛戦略」「防衛力整備計画」)の改定では、「継戦能力」「抗堪性」という言葉が使われた。戦争を持続できる能力を持って、攻撃されても丈夫な基地や兵力にしると確認した。ミサイルなど弾薬の量産や弾薬庫の増築、司令部などの地下化・要塞化がどんどん進められている。

日米両政府は、中国との長期戦を想定している。琉球新報が防衛研究所の高橋杉雄に取材(22年末)したところ、琉球弧の戦場化を前提に「短期決戦だと勝てない。半年から1年の長期戦に持ち込んで世界中の米

軍や同盟軍の来援を待てば勝てる」と答えたという。

昨夏に実施された米海兵隊との実動訓練レゾリュート・ドラゴン2024で陸自第8師団の青木師団長(当時)は、「常に敵を意識し、最後まで生き残り、戦って勝つという執念を持つ」と訓示した。誰のために、何の



ために「敵と戦って勝て」というのか? 島民の命よりも、自衛隊員の命よりも、中国という「敵」を倒し、日本という国家を守るの方が大事だというのが戦争だ。

台湾を強奪する侵略戦争

このような日米共同作戦の軍事目的は、中国軍の徹底せん滅と中国国内の基地を破壊することにある。それは中国共産党支配体制を瓦解させ、台湾を中国本土から力づくで切断して帝国主義の側の勢力圏・領土のように扱い、中国から奪い取ろうとするものである。こういうことを帝国主義の侵略戦争と言うのだ。帝国主義の本性むき出しのトランプ体制は、誰よりも絶望的に激しく戦争に向かうだろう。

この侵略戦争を止めるカギは日本の闘いにある。自衛隊を動員し、琉球弧の島々-日本全土を利用しなければ、トランプも石破も戦争できない。戦争が始まる前に止める。大規模デモを本気で目指そう。(川添)



3・11反原発福島行動'25へ

3・11反原発福島行動実行委員会

3.11原発事故から14年経過したいまなお福島は緊急事態宣言が解かれていない。国による核被曝をが強制され、いまなお廃炉の道筋も見えない。初期被曝は見捨てられ、内部被曝の問題はほとんど解明されていない。子どもたちの甲状腺がんをはじめ、被曝による健康被害はこれから本格化する。今もなお3万人い及び人々が古里を終われ、理不尽な避難生活を強いられている。汚染水の放出強行によって、漁民や農民の生業・生活が破壊され続けている。

世界最大の柏崎刈羽原発は不祥事が絶えない。ここに出た使用済み核燃料をむつ中間貯蔵施設稼働強行で始末しようとしている。青森には、米軍・三沢基地や自衛隊・天ヶ森射爆場を始めとする軍事施設も集中。



むつ市では、弾薬群建設も狙われ、青森は第二の沖縄化している。日本中にザポリージャ原発の危機、核戦争の危機があるということだ。

石破は、3.11福島原発事故の核

惨事的一切を封印し「日本は、核を持ち得る。原発の技術とロケット技術の二つを組み合わせればかなり短時間で核保有を現実化できる」と発言し画策していた。新たに第7次エネルギー基本計画と称して廃炉分新設まで打ちだし、2032年をメドにミサイルなどを保管する弾薬庫全国に130棟新設すると言っている。

3.11祈念式典に「福島の怒り」解体のためにのりこんでくる石破をどうして許せよう。福島の地を踏ませない闘いとして外に打ってでなければならない。

3.11会場は、今年、郡山会場。祈念式典は、福島がすんなりと許すわけにはいかない。石破の戦争政治を弾劾する街宣と行動を！と既に拳が上がっている。

米日の中国侵略戦争阻止！石破倒せ」の3.11反原発福島行動'25でお待ちしています。



南台農地死守! 3・24千葉地裁包囲を

三里塚現地闘争本部 野地川泰介

風雲急を告げる世界情勢下、三里塚は闘争史上最大の決戦に突入しています。千葉地裁は成田市天神峰の市東孝雄さんの南台農地をめぐる耕作権裁判の判決日を3月24日と指定しました。

この裁判は、成田空港会社 (NAA) が市東さんを「不法耕作者」とののしり、3代100年精魂込め耕してきた南台農地の明け渡しを求めたものです。18年の裁判で明らかになったのは、NAAが意図的に文書を隠蔽し、「証拠」の偽造・ねつ造にまで手を染めていたという事実です。

NAAを救済するために送り込まれた千葉地裁・齊藤顕裁判長に「市東さん農地強奪＝死刑判決を出すな！」の怒りの声をたたきつけ、3・24千葉地裁包囲デモへの大結集の力で、勝利判決を勝ち取りましょう。

石破政権は、米トランプ政権の「アメリカ第一主義」の下で、帝国主義としての生き残りをかけて中国侵略戦争に突進しています。戦争遂行のためには労働者人民の戦争動員と物資の供出・接收が不可欠です。とりわけ、公共インフラの軍事転用と軍事施設建設のための土地収用の強化

は喫緊の課題です。

すでに政府は、全国28カ所の「特定利用空港・港湾」を指定し、民間の空港・港湾を自衛隊や米軍大型爆撃機や軍艦が利用するための拡張工事を開始しています。成田空港も米軍・自衛隊の物資や兵士を運ぶ兵たん拠点・出撃拠点として位置づけられています。空港2倍化の「機能強化」、ターミナル・交通・貨物地区を再編・統合する『新しい成田空港』構想は「国家プロジェクト」としての軍事拠点づくりには他なりません。

三里塚芝山連合空港反対同盟は「軍事空港絶対反対、農地死守・実力闘争」の原則を掲げ、59年にわたり日本階級闘争を牽引してきました。石破政権による「反戦の砦＝三里塚」解体攻撃を許さず、一昨年の天神峰強制執行阻止決戦を上回る分厚い農地強奪実力阻止態勢を築き、強制執行を迎え撃ちましょう。3・30天神峰現地闘争への参加を心から訴えます。

品川ミサイル避難訓練 阻止行動に立つ

大行進中部・南部 深田力
「戦争のためのミサイル避難訓練をやめろ！」——2月4日、品川区「ミサイル避難訓練」を直撃する労働者・学生のコールが響き渡りました。

今回の「訓練」は、実践的な戦争訓練（「X国からの弾道ミサイルが飛来→化学物質による汚染が発生」した事態を想定しての陸上自衛隊化学防護隊による除染活動）であり、中国侵略戦争体制に労働者住民を動員しようとするものです。

私たちは4日、まず9時に都営浅草線戸越駅と戸越銀座商店街入口に20人で登場し、戸越駅地下への避難訓練弾効の情宣を行いました。そして10時半からは50人でデモに出発。私たちは目の前の訓練会場で



あるしながわ中央公園に響き渡る大コールを叩きつけて品川区役所～大井町駅までのデモを貫徹しました。デモ後には再度公園前に30人で登場し、戦争訓練を徹底弾効しました。

1月29日には品川区役所に訓練中止の申し入れを行いました。対応した管理職は「国と都が決めた訓練」と言って区の態度表明を避けました。自治体労働者の反戦決起をつくることも急務です。青年学生を先頭に大行進運動を発展させましょう。

内外情勢 (1月中旬～2月上旬)

▼石破首相が東南アジア歴訪。マレーシアでアンワル首相と会談、対中国の海洋安全保障協力強化を確認(10日)。インドネシアではプラボウォ大統領と会談、外務防衛閣僚会合年内開催や高速警備艇供与等を確認(11日)

▼日米豪印 (QUAD) 外相会合がワシントンで開かれ、中国への対抗を示す共同声明を発表した(11日)

▼連合芳野会長と経団連十倉会長の労資会談が都内で開かれた(12日)

▼岩屋外相が訪韓しチョテヨル外相と会談、日韓の緊密な連携確認(14日)

▼ハマスとイスラエルが停戦合意(15日)、第1段階6週間の発効(19日)

▼トランプ米大統領就任式、就任演説で米国第一主義を掲げ、「富を増やし領土を拡張する」とむきだしの帝国主義を宣言(20日)

▼トランプ大統領就任初日(20日)に南部国境地帯で「国家非常事態宣言」を発令し軍を派遣。「不法移民」の拘束と強制送還を開始(23日)

▼大統領就任式出席の岩屋外相がルビオ米国防長官と会談。日米同盟の抑止力・対処力の強化、日米豪印、日米韓、日米比の連携強化を確認(21日)。

▼通常国会が開会し石破首相が施政方針演説。「日米同盟を更なる高みに」「同志国との連携をさらに拡大・深化」「防衛力の抜本的強化」「(憲法改正) 発議の実現」などを強調(24日)

▼日銀が政策金利の引き上げを決定。0.25%から0.5%に(24日)

▼米トランプ大統領がメキシコ・カナダの輸入品に25%、中国に追加10%の関税上乗せの大統領令に署名(1日)

▼トランプ大統領がイスラエル・ネタニヤフ首相と会談し、米国がガザを所有しガザ地区の全住民は域外への再定住を進めるべきと主張(4日)

▼ワシントンで石破・トランプ日米首脳会談。共同声明で核を含む米国の関与、日米同盟の抑止力と対処力強化、米軍・自衛隊の指揮統制強化、2027年度までに抜本的な防衛力強化、SCC(2+2)早期開催などを確認。さらに中国による「現状変更」反対、「台湾海峡の平和と安全の維持」を明記(7日)

2・9国鉄集會に470名 1047名控訴審に突入

2月9日、都内で「国鉄分割・民営化から38年国鉄集會」が開催され、動労千葉・関委員長が「戦争と大失業の時代に国鉄闘争の旗を」と題して基調報告を行いました。

関委員長は「トランプ・石破の登場は領土と植民地を拡大した2度の世界戦争と同じであり、先日の日米首脳会談は中国侵略戦争が中心にすえられた」と弾効、そして「国鉄闘争は改憲・戦争へ国家の労働運動解体攻撃との闘いであり今現在の攻防点だ」と訴えました。

さらに「ユンソンニョルの戒厳クーデターを粉砕した韓国の闘いの先頭に2003年以来連帯を築いてきた民主労総の仲間たちが立っている。これに応える巨大な反戦闘争の登場、階級的労働運動の再生をかちとろう」「労働者の生活苦は連合が戦争反対も春闘も放棄しているからだ。戦争に動員されるのも労働者なら、



戦争を止めるのも労働者だ。連合を打倒し階級的労働運動をわれわれの手に取り戻そう」と提起。久留里線廃線阻止を最大の焦点に3月のダイ改ストライキを宣言しました。

解雇撤回の新たな高裁署名

解雇当該である中村副委員長は、昨年11月の東京地裁反動判決を徹底弾効。1047名解雇撤回への新たな高裁署名、控訴審第1回への1000人結集が呼びかけられました。中国侵略戦争阻止へ、沖縄闘争、広島闘争、11月集會大結集への決意にあふれ、2025年の闘いとその勝利を確信させる集會となりました。(長谷川)

行動予定 Action Plan

- 大軍拡予算・戦争国会粉碎！石破打倒！国会闘争／2月21日（金）17時30分～／衆議院第二議員会館前／大行進東京
- サイレント・フォールアウト(乳歯が語る大陸汚染)上映会／2月22日（土）18時30分～／としま区民センター 503 / NAZEN池袋
- ウクライナ戦争3年反戦集会&デモ／●首都圏 2月23日（日）13時～／新宿駅東口広場／改憲・戦争阻止！大行進●北海道 2月24日（月）12時～／札幌駅南口／大行進北海道●東海 2月23日（日）13時30分～／（名古屋市）西柳公園／大行進東海●大阪 2月24日（月）18時～／豊崎西公園／大行進関西●広島 2月24日（月）13時～／原爆ドーム前／8・6ヒロシマ大行動実行委員会●愛媛 2月24日（月）12時30分～／R-2番町労金ビル5階会議室／愛媛県職労・愛媛県公営企業病院労組
- 関生弾圧・「京都3事件」判決公判／2月26日（水）8時半～／京都地裁
- 沖縄への長射程ミサイル配備反対！日米安保＝戦争同盟粉碎！東京反戦沖縄集会／主催：大行進東京&各地区大行進●杉並 2月27日（木）19時～／阿佐ヶ谷地域区民センター1～3集会室●亀戸 3月14日（金）18時30分～／亀戸文化センター5階1・2研修室●池袋 3月15日（土）18時30分～／としま区民センター 5階会議室504●八王子 3月16日（日）14時～／八王子子安市民センター 3階会議室1●下北沢 3月16日（日）18時～／北沢タウンホール3階ミーティングルーム●品川 3月22日（土）14時～／品川区立中小企業センター 2階中講義室
- 三里塚団結街道裁判(最終弁論)／2月28日（金）13時半開廷／千葉地裁601号
- ビキニ被曝71年反戦・反核・反原発！東京集会(集会後デモ)／3月1日（土）13時30分～／セシオン杉並／NAZEN東京、大行進東京
- 反戦・反核茨城集会&デモ(土浦市)／3月1日（土）13時45分～／茨城県南生涯学習センター中講座室2 / 大行進茨城
- 大行進湘南・反原発講演会／3月2日(日)14時～／男女共同参画センター横浜フォーラムセミナールーム2・3
- 3・8国際婦人デー行動 ●首都圏 3月9日（日）14時～／杉並区西荻地域区民センター・ホール(集会後デモ)／3・8国際婦人デー集会実行委員会(03-3329-8813)●北海道 3月8日（土）13時～／タカオカビル5階カンファレンスルーム（札幌市中央区南2西3）／婦人民主クラブ全国協北海道支部●広島 3月8日（土）14時～／アステールプラザ4階大会議室A / 3・8反戦女性行動in広島実行委員会
- 3・11反原発福島行動'25 / 3月11日（火）13時～／けんしん郡山文化センター中ホール / 3・11反原発福島行動実行委員会（090-5237-9851長沢）
- 成田空港拡張差止裁判／3月14日（金）10時30分開廷／千葉地裁601号法廷
- 中国侵略戦争のための司令部地下化反対！航空自衛隊入間基地抗議行動 3月15日（土）11時～／西武池袋線入間市駅南口集合／大行進埼玉
- 8・6広島暴処法弾圧裁判第5回公判／3月19日（水）14時開廷／広島地裁304号
- 陸海空「統合作戦司令部」発足粉碎！防衛省闘争／3月21日（金）12時～／防衛省正門前／大行進東京
- 戦時弾圧をぶっとばせ！3・23東京集会(集会後デモ)／3月23日（日）14時～／東京しごとセンター地下講堂／関生支援東京の会、全国労組交流センター
- 三里塚耕作権裁判判決公判 3月24日（月）14時開廷／千葉地裁601号法廷（※12時千葉中央公園からデモ）
- 星野国賠裁判判決公判／3月24日（月）15時開廷／東京地裁708号（正午デモ）
- 3・30天神峰現地闘争(NAA本社へ向けデモ)／3月30日（日）13時～／市東さんの南台農地集合／三里塚芝山連合空港反対同盟

闘争日誌

- ▼1月11日 動労千葉の団結旗開きが開かれ、関委員長が「25年を反戦闘争爆発の年に」と闘う決意を明らかにした
- ▼1月12日 三里塚反対同盟の新年デモと団結旗開き。耕作権裁判勝利と南台農地を守る「闘争宣言2025」を発した
- ▼1月20日 動労千葉を先頭に那須電機鉄工本社への抗議闘争が闘われた
- ▼1月23日 星野国賠闘争勝利へ、裁判所包囲デモと公判（結審）に100人結集
- ▼1月24日 通常国会開会日の国会闘争が100人の結集で闘われた
- ▼1月24日 三里塚団結街道裁判で成田市の文書隠しを弾劾
- ▼1月25日 米日の中国侵略戦争阻止！トランプ・石破打倒の新宿反戦デモに250人が参加した
- ▼2月1日 大行進神奈川主催で3・8国際婦人デープレ企画の反戦集会
- ▼2月1日 大行進関西が50人の参加で梅田反戦デモ
- ▼2月2日 大行進呉(準)と8・6ヒロシマ大行動主催の呉反戦デモに35人が結集、海上自衛隊呉地方総監部に申し入れ
- ▼2月4日 自衛隊参加の品川ミサイル避難訓練を弾劾する行動と抗議デモ
- ▼2月4日 8・6暴処法弾圧裁判第3回公判、夜の報告集會に60人結集
- ▼2月7日 トランプ・石破の2・7日米戦争会談粉碎、大軍拡・戦争国会粉碎の国会闘争が50人の結集で闘われた
- ▼2月9日 国鉄全国運動集會に470人

会計報告(25年1月1日～31日)	●収入	15,150
	会議費	1,600
	1号ニュース	12,550
	のぼり旗	1,000
	●支出	105,817
	集会費	43,070
	デモ幕	4,070
	ピラ代	39,000
	ニュース作成	59,790
	コピーや本	5,790
	1号印刷代	54,000
	事務局活動費	2,957
	備品(PC、棚)	2,957
	●繰越金	413,802
	●残高	323,135

「改憲・戦争阻止！大行進」運動は、大規模な反戦デモをめざして全国で取り組んでいます。各地にも「大行進」実行委員会がつくられています。
 【呼びかけ】高山俊吉（弁護士）／森川文人（弁護士、憲法と人権の日弁連をめざす会）／野本三吉（ノンフィクション作家）／洞口朋子（杉並区議会議員）／全日本建設運輸連帯労働組合関西地区生コン支部／全国金属機械労働組合港合同／国鉄千葉動力車労働組合
 ブログ <https://stop-kaiken.blog.jp/>
 ツイッター (X) <https://x.com/grandmarch2020>



カンパのお願い
 《振込先》
 きらぼし銀行
 東新宿支店 (071)
 普通 5009268
 「弁護士 森川文人」